

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 豆蔵OSホールディングス
 コード番号 3756 URL <http://www.mzoshd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務・経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 荻原 紀男
 (氏名) 南口 和彦

TEL 03-5339-2100

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	2,104	△25.8	△218	—	△240	—	△211	—
21年3月期第3四半期	2,836	—	170	—	168	—	70	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△6,951.69	—
21年3月期第3四半期	2,270.49	—

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の21年3月期第3四半期につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。22年3月期第3四半期につきましては、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	3,900	2,191	55.7	71,386.08
21年3月期	3,347	2,538	72.1	79,245.67

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,172百万円 21年3月期 2,411百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期(予想)				1,000.00	1,000.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,050	△19.5	△200	—	△230	—	△220	—	△7,228.99

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社 (社名 株式会社フォスターネット) 除外 1社 (社名 株式会社チェンジビジョン)
 (注)詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(1)期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)をご参照ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細につきましては、7ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	30,920株	21年3月期	30,920株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	487株	21年3月期	487株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	30,433株	21年3月期第3四半期	30,920株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成22年2月9日付「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 当第3四半期の概況

当第3四半期における我が国経済は、持ち直しの動きがみられるとはいうものの、自立性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にあります。

情報サービス産業におきましては、厳しい経済環境を反映して、依然として、業界全体での低迷が続いております。

このような状況の下、当社グループは、我が国の基幹産業である工業製品に組み込まれるいわゆる組込ソフトに対するコンサルティング、ソフトウェアエンジニアの教育サービスなどを中心に地道な営業活動を展開し、一定の成果を確保してまいりました。一方、ビジネス・ソリューション事業では、受注に至るまでのリードタイムの長期化、公共案件の凍結など、厳しい状況に依然として直面しております。

以上のような経済状況に鑑み、グループ会社の再編を行っております。平成21年12月には、株式会社チェンジビジョンの全株式を売却し、同じく12月、弊社の子会社である株式会社オープンストリームの取締役会において、平成22年1月に株式会社エフの全株式を売却することを決議しております。従いまして、両社は平成21年12月末において連結離脱となります。これら売却により、売却損を2,473千円、特別損失に計上しております。さらに、平成21年12月に、株式会社フォスターネット、株式会社ネクストスケープの全株式を取得したことにより、両社は、平成21年12月末において、連結加入となっております。また、既存事業の見直しも行い、ロッカーポスト事業の縮小に伴う固定資産の見直しにより除却損を45,000千円、貸付金に対する担保の見直しにより、貸倒引当金繰入額を27,705千円特別損失として計上しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は、691,464千円（前年同期比22.7%減）、営業損失90,408千円（前年同期は14,721千円の営業利益）、四半期純損失99,432千円（同14,198千円の四半期純損失）となりました。

また、当第3四半期連結累計期間における売上高は、2,104,900千円（前年同期比25.8%減）、営業損失218,388千円（前年同期は170,284千円の営業利益）、四半期純損失211,560千円（同70,203千円の四半期純利益）となりました。

(2) 部門別の売上高の概況

① ビジネス・ソリューション事業

ビジネス・ソリューション事業では、案件数自体の減少に加えて、案件獲得のリードタイムが長引いております。金融機関向けでは、一定の成果を上げることができましたが、一般事業法人向けシステム開発、同システムコンサルティングにおいては、腰を据えた提案が求められ、そこで、一部では、お客様の来期以降の予算を確保する活動を行ってまいりました。当第3四半期連結会計期間における売上高は393,446千円（前年同期比27.2%減）、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,193,851千円（前年同期比29.8%減）となりました。

また、12月末日をみなし取得日として、株式会社ネクストスケープ、株式会社フォスターネットを連結子会社としておりますが、当第3四半期におきましては、貸借対照表のみ連結対象となり、損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書は連結対象となりませんので、上記売上高には、含まれておりません。

② エンジニアリング・ソリューション事業

エンジニアリング・ソリューション事業では、好調であった昨年と比べると大きく減少させる結果となっていますが、過去2番目の売上高となっています。精密機械関連や自動車関連で安定的な継続案件をいただいております、堅調な結果となっています。当第3四半期連結会計期間における売上高は142,295千円（前年同期比33.8%減）、当第3四半期連結累計期間における売上高は383,212千円（前年同期比34.6%減）となりました。

③ 教育ソリューション事業

教育ソリューション事業では、小規模なオンサイト案件を積み重ねてまいりました。また、来季以降のコースウェアの見直しを順次始めているところです。当第3四半期連結会計期間における売上高は30,918千円（前年同期比27.1%減）、当第3四半期連結累計期間における売上高は213,122千円（前年同期比1.0%減）となりました。

④ 経営コンサルティング事業

経営コンサルティング事業では、内部統制コンサルティングがひと段落し、IT企業、一般企業のIT統制業務コンサルにシフトしています。総合商社をはじめとするIT再編構築コンサル、連結納税システムTax-Saverの販売保守などを積み上げた結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は40,276千円（前年同期比43.5%減）、当第3四半期連結累計期間における売上高は121,029千円（前年同期比52.9%減）となりました。

⑤ 製品開発・販売事業

製品開発・販売事業では、astah* professionalを利用した自動車業界向けソフトプラットフォームの標準化団体に係る売上が引き続き堅調でした。当第3四半期連結会計期間における売上高は84,527千円（前年同期比233.0%増）、当第3四半期連結累計期間における売上高は193,684千円（前年同期比147.4%増）となりました。

なお、当社グループの経営資源の見直しにより、製品開発・販売事業を縮小することとし、平成21年12月、株式会社チェンジビジョン株式全部を他社へ売却いたしました。

事業部門別の売上高の内訳につきましては、16ページの6. その他の情報(2) 販売実績をご参照ください。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、14.7%増加し、1,946,958千円となりました。これは、主として「現金及び預金」が313,328千円増加し、一方で、「その他」に含まれる短期貸付金が97,250千円減少したことなどによります。(なお、「現金及び預金」の詳しい内容につきましては、13ページの四半期連結キャッシュ・フロー計算書をご参照下さい。)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、18.4%増加し、1,953,447千円となりました。これは、主として「その他」に含まれる長期繰延税金資産が、140,455千円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、16.5%増加し、3,900,406千円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、97.0%増加し、1,415,421千円となりました。これは、主として「短期借入金」が418,344千円、「その他」に含まれる未払金が、104,148千円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、226.3%増加し、293,771千円となりました。これは、主として「長期借入金」が164,596千円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、111.4%増加し、1,709,192千円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて13.7%減少し、2,191,213千円となりました。これは、主として「利益剰余金」に含まれる繰越利益剰余金が252,979千円、少数株主持分が121,391千円減少したことなどによります。

④ キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前第3四半期連結会計期間末に比べて、544,021千円増加し、1,022,177千円となりました。

(i) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結会計期間における営業活動の結果64,386千円(前年同期比47,111千円減)の資金を支出しました。主な内容としては、収入が、固定資産除却損45,000千円などによるものです。支出としては、税金等調整前四半期純損失170,191千円などとなっております。

なお、当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果83,457千円(前年同期比49,484千円増)の資金が得られました。主な内容としては、収入が、売上債権の減少額183,765千円、減価償却費76,475千円などによるものです。一方、支出としては、税金等調整前四半期純損失314,034千円などとなっております。

(ii) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結会計期間における投資活動により使用した資金は37,842千円(前年同期比134,784千円増)です。主な収入としては、差入保証金の回収による収入が96,387千円となっております。一方、支出としては、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出92,192千円などとなっております。

なお、当第3四半期連結累計期間における投資活動により使用した資金は241,693千円(前年同期比119,022千円増)です。主な収入としては、差入保証金の回収による収入が96,387千円となっております。一方、支出としては、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出92,192千円などとなっております。

(iii) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結会計期間における財務活動により得られた資金は189,208千円(前年同期比189,380千円増)です。主な収入としては、長期借入れによる収入173,838千円となっております。

なお、当第3四半期連結累計期間における財務活動により得られた資金は427,532千円(前年同期比505,402千円増)です。主な収入としては、短期借入による収入313,492千円、長期借入れによる収入173,838千円となっております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの属する情報サービス業の先行きは依然として不透明な状況になっており、最近の業績動向を踏まえ業績予想を下方修正いたします。

業績予想の修正につきましては、本日(平成22年2月9日)公表「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間より、全株式を取得したことにより、株式会社フォスターネットを連結の範囲に含めております。

なお、株式会社フォスターネットは平成21年12月16日の株式取得であるため、みなし取得日を当第3四半期累計期間末としており、当四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、全株式を売却したことにより、株式会社チェンジビジョンを連結の範囲から除外しております。

なお、株式会社チェンジビジョンは平成21年12月25日の株式売却であるため、みなし売却日を当第3四半期累計期間末としており、当四半期連結累計期間は損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書のみを連結しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計処理基準に関する事項の変更

売上高及び売上原価の計上基準の変更

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる場合については工事進行基準(進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の場合については検収基準を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は804千円増加し、営業損失、経常損失、税金等調整前四半期純損失は244千円それぞれ減少しております。

② 追加情報

(i) 受注損失引当金

当第3四半期連結累計期間末において損失が見込まれる受注契約が発生したため、将来の損失が見込まれ、かつ、当該損失額を合理的に見積ることが可能なものについては、翌四半期連結会計期間以降に発生が見込まれる損失額を受注損失引当金として計上しております。

(ii) 持分法適用関連会社の解散

当社の持分法適用関連会社である株式会社プログレス・パートナーズは、平成21年7月31日開催の臨時株主総会において、解散を決議いたしました。

イ. 解散の理由

株式会社プログレス・パートナーズは、株式会社オービックビジネスコンサルタントとの合弁会社として設立し、連結会計、連結納税等に関するコンサルティングを主とした事業を行ってまいりました。しかしながら、事業環境の厳しさが増していく状況において事業活動の継続は困難と判断し、解散することとなりました。

ロ. 当該持分法適用関連会社の名称、事業内容、規模

商号 株式会社プログレス・パートナーズ
 事業内容 連結会計、連結納税等に関するコンサルティング
 規模 資本金125,000千円

ハ. 解散の時期

平成21年7月31日 解散決議
 平成21年7月31日 解散
 平成22年2月末 清算終了予定

ニ. 当該持分法適用関連会社の状況、負債総額

(平成21年11月30日現在)

売上高 81,739千円
 純資産額 31,062千円
 総資産額 43,113千円

大株主及び持分比率

株式会社オービックビジネスコンサルタント	40.0%
株式会社豆蔵OSホールディングス	40.0%
その他	20.0%

ホ. 当該解散による損失見込み額

解散に伴う連結損益への影響は、軽微であります。

ヘ. 当該解散が営業活動等へ及ぼす重要な影響

解散に伴う営業活動等への影響は、軽微であります。なお、株式会社プログレス・パートナーズが開発、販売しているソフトウェア製品である「連結納税TAX-Saver」につきましては、当社の子会社である株式会社豆蔵へ移管し、引き続き事業を展開しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,112,177	798,849
売掛金	603,239	670,410
商品	4,676	—
仕掛品	42,614	27,079
その他	188,791	203,362
貸倒引当金	△4,541	△2,159
流動資産合計	1,946,958	1,697,542
固定資産		
有形固定資産	70,266	74,333
無形固定資産		
のれん	849,607	696,545
その他	170,551	303,342
無形固定資産合計	1,020,158	999,888
投資その他の資産		
投資有価証券	398,225	372,528
その他	520,422	232,933
貸倒引当金	△55,625	△30,097
投資その他の資産	863,022	575,364
固定資産合計	1,953,447	1,649,585
資産合計	3,900,406	3,347,127
負債の部		
流動負債		
買掛金	112,668	39,670
短期借入金	888,344	470,000
未払法人税等	2,032	39,023
賞与引当金	13,414	26,579
受注損失引当金	18,643	—
その他の引当金	28,096	—
その他	352,221	143,372
流動負債合計	1,415,421	718,645
固定負債		
長期借入金	254,596	90,000
負ののれん	38,025	—
その他	1,150	32
固定負債合計	293,771	90,032
負債合計	1,709,192	808,678

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	797,550	797,550
資本剰余金	1,181,070	1,181,070
利益剰余金	213,596	460,745
自己株式	△20,277	△20,277
株主資本合計	2,171,939	2,419,088
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	553	△7,404
評価・換算差額等合計	553	△7,404
新株予約権	18,721	5,374
少数株主持分	—	121,391
純資産合計	2,191,213	2,538,449
負債純資産合計	3,900,406	3,347,127

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	2,836,287	2,104,900
売上原価	1,968,094	1,653,246
売上総利益	868,193	451,654
販売費及び一般管理費	697,908	670,043
営業利益又は営業損失(△)	170,284	△218,388
営業外収益		
受取利息	2,570	2,278
受取配当金	2,280	3,739
保険解約返戻金	—	24,441
その他	3,471	3,083
営業外収益合計	8,321	33,542
営業外費用		
支払利息	5,544	7,362
為替差損	2,580	1,958
持分法による投資損失	1,743	45,955
その他	359	174
営業外費用合計	10,227	55,451
経常利益又は経常損失(△)	168,378	△240,297
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,855
その他	—	40
特別利益合計	—	1,895
特別損失		
会員権評価損	8,630	—
固定資産除却損	—	45,131
貸倒引当金繰入額	—	27,705
その他	—	2,796
特別損失合計	8,630	75,632
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	159,748	△314,034
法人税、住民税及び事業税	95,460	8,474
法人税等調整額	20,139	△124,837
法人税等合計	115,599	△116,362
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△26,054	13,888
四半期純利益又は四半期純損失(△)	70,203	△211,560

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	894,646	691,464
売上原価	646,494	543,844
売上総利益	248,151	147,620
販売費及び一般管理費	233,429	238,029
営業利益又は営業損失(△)	14,721	△90,408
営業外収益		
受取利息	1,050	98
受取配当金	1,380	1,864
為替差益	—	733
その他	96	507
営業外収益合計	2,526	3,203
営業外費用		
支払利息	1,736	2,554
為替差損	2,817	—
持分法による投資損失	3,955	5,923
その他	—	26
営業外費用合計	8,509	8,504
経常利益又は経常損失(△)	8,738	△95,709
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	979
その他	—	40
特別利益合計	—	1,019
特別損失		
会員権評価損	8,630	—
固定資産除却損	—	45,000
貸倒引当金繰入額	—	27,705
その他	—	2,796
特別損失合計	8,630	75,501
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	108	△170,191
法人税、住民税及び事業税	4,848	△20,866
法人税等調整額	19,415	△52,126
法人税等合計	24,263	△72,993
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9,956	2,234
四半期純損失(△)	△14,198	△99,432

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	159,748	△314,034
減価償却費	119,539	76,475
のれん償却額	31,665	32,763
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,374	25,850
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,165	△19,222
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	165
受取利息及び受取配当金	△4,850	△6,017
支払利息	5,544	7,362
持分法による投資損益(△は益)	1,743	45,955
子会社株式売却損益(△は益)	—	2,432
固定資産除却損	—	45,131
売上債権の増減額(△は増加)	6,714	183,765
たな卸資産の増減額(△は増加)	△30,208	△4,070
仕入債務の増減額(△は減少)	△24,533	△17,765
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△30,859	29,576
未払又は未収消費税等の増減額	14,555	△17,312
その他の資産の増減額(△は増加)	△14,941	9,299
その他の負債の増減額(△は減少)	58,169	10,670
その他	10,666	24,702
小計	291,163	115,727
利息及び配当金の受取額	3,947	6,489
利息の支払額	△4,433	△6,650
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△256,704	△32,108
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,972	83,457
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,776	△6,170
無形固定資産の取得による支出	△82,717	△73,199
投資有価証券の取得による支出	△106,699	△75,875
投資有価証券の売却による収入	—	1,313
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	28,284
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△92,192
関係会社株式の取得による支出	—	△25,000
差入保証金の差入による支出	—	△75,034
差入保証金の回収による収入	—	96,387
短期貸付けによる支出	△150,000	—
その他	△522	△20,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△360,716	△241,693

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	720,000	2,754,492
短期借入金の返済による支出	△720,000	△2,441,000
長期借入れによる収入	—	173,838
長期借入金の返済による支出	△30,000	△30,000
配当金の支払額	△47,799	△29,797
その他	△69	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,869	427,532
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,498	△1,904
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△407,111	267,393
現金及び現金同等物の期首残高	885,267	748,849
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	5,935
現金及び現金同等物の四半期末残高	478,156	1,022,177

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 受注実績

当第3四半期連結会計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
エンソロジー・ソリューション事業	773,803	7.5	736,347	3.6
(ビジネス・ソリューション事業)	646,379	12.8	625,870	13.1
(エンジニアリング・ソリューション事業)	127,423	△13.1	110,477	△29.7
教育ソリューション事業	21,913	8.1	17,666	△18.5
経営コンサルティング事業	37,084	△10.7	19,418	△68.5
製品開発・販売事業	5,492	△83.9	—	△100.0
合計	838,295	2.8	773,431	△13.6

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 当第3四半期連結会計期間より新たに連結の範囲に含めた株式会社フォスターネット、株式会社ネクストスケープにつきましては、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末日としているため、ビジネス・ソリューション事業における受注残高には、これらの連結子会社の増加に伴う増加額を含めて記載しております。

4 当第3四半期連結会計期間において連結の範囲から除外した株式会社チェンジビジョン、株式会社エフにつきましては、みなし売却日を当第3四半期連結会計期間末日としているため、ビジネス・ソリューション事業、製品開発・販売事業における受注残高には、これらの連結子会社の減少に伴う減少額を含めて記載しております。

(2) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
エンソロジー・ソリューション事業	535,742	△29.1
(ビジネス・ソリューション事業)	393,446	△27.2
(エンジニアリング・ソリューション事業)	142,295	△33.8
教育ソリューション事業	30,918	△27.1
経営コンサルティング事業	40,276	△43.5
製品開発・販売事業	84,527	233.0
合計	691,464	△22.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。